

経001	項目名	地域商社運営支援事業費	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	31
年度	H29		
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)	補正前額	5,124	
	要求額	2,000	
総務部長段階査定額	2,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,000		
計	2,000		
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249 【10次総の施策体系】2103 【事業の経過及び背景】 地域商社とは、地域の多くの関係者と連携し、農産物などの地域の資源を新たにブランド化していくことはもとより、生産・加工から流通・販売まで一貫したプロデュースを行い、地域経済の活性化を目指す組織のことである。 本市における小規模な生産者・事業者の域外への販路拡大を図るためには、営業力や受発注・決済機能・物流機能、コンサルティング機能等を持ち、既存商品・産品に加え市場化されずに眠る有望な地域資源の販路開拓の司令塔となつて、従来以上の付加価値を引き出し、その収益を地域や生産者に還元していくことのできる「地域商社」の存在が不可欠である。このことを踏まえて、この地域商社機能を有する会社を設立するため、地方金融機関と本市を中心に、経済団体と連携して、平成28年12月に鳥取地域商社設立協議会を立ち上げた。 【事業の目的及び効果】 平成29年10月に設立予定の地域商社の資本を安定的に確保することにより、販路拡大（取引企業の獲得）等運営の円滑化を図り、地域産業の底上げや地域経済活性化の取組を促進させる。 【事業の内容】 （仮称）株式会社地域商社とつとりに対する資本金、2,000千円の拠出。			
所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課			

経002	項目名	北前船寄港地フォーラム鳥取大会開催事業費	
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	31
年度	H29		
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)	補正前額	7,123	
	要求額	2,150	
総務部長段階査定額	2,150	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,150	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	6,573
		雑収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	6,573		
一般財源	△ 4,423		
計	2,150		
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227 【10次総の施策体系】2201 【事業の経過及び背景】 北前船は江戸中期から明治まで運行されていた廻船で、北海道から日本海沿岸を經由して大阪に至る広範囲の物流ネットワークを形成していた。本市では賀露港が寄港地として各種文献に記載されており、賀露神社には北前船の模型やいかりが保存されている。 北前船寄港地フォーラムは、寄港地間の広域観光ネットワークを通じた地域の魅力発信と地方創生に寄与する目的で平成19年11月に第1回大会が開催され、講演やパネルディスカッション、現地視察による交流と連携が深まっている。 本市でのフォーラム開催については、27年2月の「鳥取市地方創生・地域経済対策協議会」において鳥取商工会議所から誘致支援の要請を受け、7月の第16回大阪大会で誘致表明を行っていたが、11月の第17回加賀大会において平成29年11月の開催が正式決定した。 【事業の目的及び効果】 フォーラム開催を通じて寄港地同士の広域間連携を図るとともに、歴史的資源を活かした地域活性化に繋げる。 【事業の内容】 フォーラムのテーマ「来たまえ！環日本海新時代～北前船レガシーで友情・平和・交流の海へ～」にもとづき、環日本海地域（ロシア・中国・韓国）から講師や来賓を招待するなど、国際色豊かなフォーラムに向けて準備を進めていく。 ・開催日：平成29年11月24日（金） ・開催場所：とりぎん文化会館 梨花ホール			
所 属 名 経済観光部 観光戦略課			

経003	項目名	たんぼり荘、山王谷キャンプ場管理運営費		
予算書項目	観光施設整備事業費	ページ	31	所 属 名
年度	H29	経済観光部 観光戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227			
款 商工費	【10次総の施策体系】2201			
項 商工費	【事業の経過及び背景】			
目 観光費	たんぼり荘は、森林組合員の協業事業に対する認識の高揚、林業従事者の林業活動の円滑な推進及び林業技術の習得向上を目的とし、森林総合利用促進事業の管理棟として昭和54年度に設立。昭和56年度には自然探索と青少年の健全育成を目的に隣接地に別館を設立。平成18年度から指定管理者制度へ移行。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
補正前額	2,315	経年劣化により故障したたんぼり荘施設内の井水滅菌機の取替修繕を行う。		
要求額	209			
総務部長段階査定額	209	その他財源の内訳		
市長段階査定額	209	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	補正額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	209			
計	209			
行財政改革課処理欄				

経004	項目名	広域観光開拓・推進事業費		
予算書項目	広域観光開拓・推進事業費	ページ	31	所 属 名
年度	H29	経済観光部 観光戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227			
款 商工費	【10次総の施策体系】2201			
項 商工費	【事業の経過及び背景】			
目 観光費	鳥取県東部・兵庫県北但西部1市6町の広域周遊観光圏を形成する目的で、平成27年度から広域観光ランドデザインの策定を進めている。併せて、鳥取・因幡観光ネットワーク協議会が、地域連携DMOの候補法人として県東部1市4町との連名で観光庁への登録を行っている。平成29年度は、策定されたランドデザインの推進母体としてDMO設立を進めるとともに、広域周遊を促進するための二次交通対策、インバウンド増加対策に取り組む。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
補正前額	15,038	二次交通対策、インバウンド増加対策として実施している「外国人観光客1,000円高速バス事業」について、開始2ヶ月(6/1~7/31)の利用状況を踏まえ、年間の利用見込数を上方修正し、引き続き外国人観光客の誘客促進に取り組む。		
要求額	11,772	(当初想定数1,000人⇒利用見込数5,400人)		
総務部長段階査定額	11,772	その他財源の内訳		
市長段階査定額	11,772	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	補正額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	11,772			
計	11,772			
行財政改革課処理欄				

経005	項目名	「砂像のまち鳥取」推進事業費	
予算書項目	観光宣伝事業費	ページ	31
年度	H29		
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
補正前額	34,765		
要求額	6,858		
総務部長段階査定額	4,871	その他財源の内訳	
市長段階査定額	4,871	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	1,551		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,320		
計	4,871		
行財政改革課処理欄			

事業の概要	
【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036	
【10次総の施策体系】2201	
【事業の経過及び背景】 平成18年の砂の美術館第1期展示開催から、砂の美術館を中心に砂像の魅力を広く発信するため、県内外での砂像制作や世界砂像フェスティバルの開催等砂像を活かしたまちづくりを実施している。砂の美術館の認知度は上昇しつつあるが、更なる鳥取砂丘の砂像ブランド力の向上、市民砂像文化の醸成が望まれる。	
【事業の目的及び効果】 鳥取市の新たな観光ブランドとなった「砂像」を広くアピールし、砂像文化を市民とともに育み、「砂像のまち鳥取市」を全国、全世界に発信する。	
【事業の内容】 「鳥取砂のルネッサンス」をメインテーマに、本年11月にまちなかで国内砂像彫刻選手権大会やシンボル砂像公開制作、砂像サミット等を開催し、砂像彫刻家の育成発掘や砂像の情報発信、全国各地の砂像関係者との情報共有を図るとともに、砂の美術館との相乗効果により砂像のまち鳥取への積極的な誘客並びに市民への砂像文化の醸成を図る。 このたび、シンボル砂像のモチーフが決定し、モチーフに合わせた制作展示環境の整備と維持管理のため、制作展示期間の大型テント設置及び夜間警備を実施する。	

所 属 名
経済観光部
鳥取砂丘・ジオパーク推進課

経006	項目名	砂の美術館管理運営費	
予算書項目	観光施設整備事業費	ページ	31
年度	H29		
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
補正前額	266,816		
要求額	894		
総務部長段階査定額	894	その他財源の内訳	
市長段階査定額	894	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	894		
計	894		
行財政改革課処理欄			

事業の概要	
【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036	
【10次総の施策体系】2201	
【事業の経過及び背景】 砂の美術館は、平成17年10月から指定管理者制度へ移行し、平成24年度には砂像展示専門の美術館として新施設を整備し、管理運営を行っている。平成30年1月15日からは、使用料制から利用料金制へ移行する。	
【事業の目的及び効果】 指定管理者制度導入で、管理経費の縮減と民間知識活用によるサービス向上を図るとともに、地域産業発展と観光の振興を目指す。	
【事業の内容】 老朽化により故障した鳥取砂丘砂の美術館内「サンドバル」売店の空調設備の修繕。(コンプレッサ取替、冷媒ガス充填等)	

所 属 名
経済観光部
鳥取砂丘・ジオパーク推進課

経007	項目名	鳥取砂丘ビジターセンター事業費
------	-----	-----------------

予算書項目	鳥取砂丘ビジターセンター事業費	ページ	31
-------	-----------------	-----	----

所 属 名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課
-------	------------------------

年度	H29
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)

補正前額	0
------	---

要求額	2,037
-----	-------

総務部長段階査定額	2,037
-----------	-------

市長段階査定額	2,037
---------	-------

区 分	補正額
国・県支出金	126
地方債	0
その他	1,018
一般財源	893
計	2,037

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
雑収入	1,018
その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要
<p>【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036</p> <p>【10次総の施策体系】2201</p> <p>【事業の経過及び背景】 環境省は、鳥取砂丘地域を中心とした山陰海岸国立公園鳥取県地域での様々な体験活動の拠点として、鳥取砂丘ビジターセンターを整備する。それに伴い、ビジターセンター建設予定地にある鳥取砂丘ジオパークセンターを平成29年度に解体・撤去した。鳥取砂丘ビジターセンターの平成30年秋オープンに向け、環境省による施設整備と並行して、県市による運営協議会を立ち上げる必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 鳥取砂丘ビジターセンターを整備することで、鳥取砂丘を訪れる観光客への情報提供、体験活動の拠点、市民の地域学習の場等、様々な役割として機能する。これにより、鳥取砂丘を中心とした本市の観光振興を目指す。</p> <p>【事業の内容】 鳥取砂丘ビジターセンターオープンに向けた準備経費（準備員1名の人件費及び印刷物等の事務的経費）。</p> <p>※その他財源の諸収入は、鳥取砂丘ビジターセンター県負担金</p>